

議会だより



いっぱい取りたい

カルタ大会 本番に向けて (志免南保育園)

12月定例会

- 補正予算 小中学校にエアコン設置等、可決 6億1007万円増 2~3p
- 議員提案による条例制定 志免町飲酒運転撲滅に関する条例 4~5p
- 副議長不信任案審議否決 6p
- 7人が一般質問 11~18p

わが町のきらっとさん!

志免南保育園を訪ねて



ふくわらい

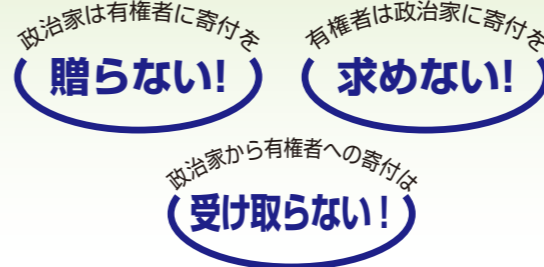
志免南保育園には、0歳から5歳までの131名の子ども達が通っています。南保育園の特長として、障がいのある人も障がいのない人も、同じ人間として関わりを深めながら、お互いを大切にできる存在として育っていくことを願って、柚の木学園との交流を行っているとの事。

運動会には一緒に玉入れをしたり、仕事体験、ふれあい交流会では子ども達が訪問をしたりしているそうです。園の印象として園庭が広く、プールもあり、外遊びに子ども達は元気に走り回っていました。おたずねした日は、保育始めの式で、お正月遊びを先生達がおしえておられました。十二支のはなしや歌、こま回し、凧あげ、福笑いなど大喜び、式が終わると、すぐに外へ出ていき羽根つきや竹馬など早々に遊んでいました。一年間を通じて色々な行事を計画されているとの事で、元気な子ども達の笑顔にほっとしたひとときでした。



羽子板

みんなで徹底しよう「三ない運動」
政治家の寄付は禁止
有権者が求めることも禁止



【議会広報特別委員会】

寺田 秀和	吉田 大作	野上 順子	丸山 真智子	委員	近藤 辰也	副委員長	牟田口 武史	委員長	大西 勇 議長	発行責任者
-------	-------	-------	--------	----	-------	------	--------	-----	---------	-------

お知らせ

傍聴に是非お越しく下さい。

次回の定例会は
3月3日予定

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。ぜひお越しく下さい。車椅子席もあります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 935-1262 FAX 935-7070
議会事務局は町役場4階です
メールアドレス: gikai@town.shime.lg.jp

◇発行・福岡県志免町議会
◇編集・議会広報特別委員会 〒811-2292 福岡県糟屋郡志免町中央1丁目1-1
◇発行日・平成29年2月1日 ◇印刷・株式会社 三光

平成28年度一般会計補正予算 小中学校にエアコン設置、可決

6億1007万円増

総額132億4548万円 賛成多数で可決
賛成12人 反対1人

主な歳出

小中学校エアコン設置事業
3億8128万円

国補助金 8838万円
地方債 2億9220万円
一般財源 70万円
小中学校の普通教室等
204教室にエアコンを設置する工事

システム改修業務委託料
203万円

臨時福祉給付金事務システム改修

井堰管理工事

363万円

瀬戸井堰左岸ゲート補修工事、別府上井堰整備等

交通安全施設工事

827万円

志免中央小学校の指定通学路の一部をゾーン30に設定する工事

※ゾーン30とは：最高速度を30km/hに規制するもの

・交差点等の注意喚起のためのカラー舗装等

主な歳入

- 障害児施設給付費等負担金 **2824万円**
障害児通所支援金が増加したため
国庫支出金 1883万円
県支出金 941万円
- 臨時福祉給付金事業費補助金 **1億2843万円**
支給対象者一人につき15000円支給
※平成28年度分の市町村民税(均等割)が課税されていない者
- 学校施設環境改善交付金 **8838万円**
小中学校の大規模改造(空調設備)
- ひとり親家庭等医療費補助金 **292万円**
ひとり親家庭医療の増加によるもの

債務負担行為

※予算の先取りを行う行為

まちづくり支援室運営委託料

1946万円

3年間の委託事業(32年3月31日まで)

高齢者保健福祉計画策定委託料

378万円

計画策定委託料(30年3月31日まで)

環境監視作業業務委託料

412万円

環境監視員2名分(30年3月31日まで)

屋外トイレ清掃委託料

669万円

公園トイレ22ヶ所分(30年3月31日まで)

ALT委託料

869万円

外国語指導助手委託料(30年3月31日まで)

生涯学習館託児委託料

350万円

委託料(30年3月31日まで)

私立幼稚園就園助成金

652万円

制度改正によるもの

西小学校施設整備工事

698万円

特別支援学級、給食室改修工事

東中学校施設整備工事

352万円

校舎雨漏り補修等

反対討論

助村千代子議員

小中学校エアコン事業費に関しては、国の補助金は低額でほとんどを借金で賄う。平成31年度には23億円の財源不足が生じる状況下において優先事業とは思わない。将来の財政、子ども達の健康と地球温暖化も危惧する。児童生徒、子どものもつと先に行う事があると思つ。

平成28年度特別会計補正

- ・国民健康保険 歳入歳出 3584万円増 総額54億 237万円(全員賛成)
- ・後期高齢者医療 歳入歳出 165万円減 総額 5億3434万円(賛成多数)

平成28年度公営企業会計補正

- ・水道事業 収益的支出 202万円増 総額 9億7257万円(全員賛成)
- ・下水道事業 収益的支出 270万円増 総額11億 779万円
資本的収入 839万円減 総額 5億7802万円(全員賛成)

12月定例会は2日より13日まで12日間の会期で開かれました。議案13件可決。意見書1件可決、1件否決。一般質問は12月5日、6日の2日間で7人が行いました。

例

町の憲法

条

議員提案による条例制定

提出者

会派「大樹」 古庄 信一郎 議員
 二宮 美津代 議員
 牟田口 武史 議員

※会派「大樹」の名称の議員連盟により提出されましたが、志免町議会は会派制を採用していません。

志免町飲酒運転撲滅に関する条例

この条例は、町、町民、議会及び事業者等が一体となって飲酒運転を撲滅するための活動を推進し、飲酒運転は絶対にしない、させない、許さないという町民意識を定着させ、安全で安心して暮らすことができる町民生活の実現を図ることを目的とする。毎年2月9日を飲酒運転撲滅の日と定める。

平成28年12月13日施行

賛成多数



福岡県飲酒運転撲滅宣言

議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

・特別職の給与に関する法律の一部改正に伴い
 所要の規定の整備を行う必要があるため

平成28年12月13日施行

賛成多数

特別職の給与に関する条例の一部を改正する条例

・特別職の給与に関する法律の一部改正に伴い
 所要の規定の整備を行う必要があるため

平成28年12月13日施行

※特別職とは：町長・副町長・教育長

賛成多数

志免町職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定

・育児休業等の対象となる子の範囲の見直し
 ・介護休暇取得
 ・介護のための所定労働時間短縮措置

平成29年1月1日施行

全員賛成

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

・人事院勧告に基づく一般職の職員の給与に関する法律の一部改正に伴い所要の規定の整備を行う必要があるため

平成28年12月13日施行

賛成多数

農業委員会の委員の定数に関する条例の制定

・委員の定数を14人とする。
 ※これまでは16人。
 ・選出方法を選挙による選出から、議会の同意を経た町長の任命制一本とする。
 ・農業者外からの登用や、青年、女性からの積極的な登用も謳われている。

平成28年12月13日施行

全員賛成



吉原地区の農地

副議長 不信任案審議否決

動議
提出者 二宮 美津代 議員

学童保育運営委託先変更について、社会福祉協議会への受託決定までの、丸山議員の一連の言動は、事業委託先の理事で決定当事者。何でも知り得る立場、副議長という立場からも大きな責任が伴い慎重を期すべき。今回の対応は、志免町政治倫理に関する条例、志免町議会基本条例にも抵触する可能性も否定できない。

賛成討論
古庄 信一郎 議員

議長を補佐し議会の融和を図る立場の副議長が、逆に議会を混乱させ町政に支障をきたしている。主な点を挙げる。
①委員会審査を無視した一般質問を行政側と展開し、これによって総務委員会が審議拒否。この反省も問題收拾の努力もせず放置、混乱を来す。
②他委員会を誹謗する質問が多く、委員会の独自性と尊厳を無視する自己中心的感覚の質疑を展開することが多い。
③実現した施策を自分の手柄と自らの報告誌に虚偽掲載。真に努力した議員や委員会は不快感に満ち、議員間の不協和を益々助長している。
④行政チェックの議会と同じ活動を展開している民間団体、まちづくり住民協議会の会長に議員はなるべきではない。

弁明
丸山 真智子 副議長

予算を伴う学童保育事業は委員会審議され、議会で決定することは、私は百も承知で、受託確約とも思える回答を引き出すことは絶対にならぬ。社協の理事会の中では私は慎重派だった。確かめていただきたい。だから、口利きと捉えられない可能性は全くない。住民の期待に応える議会とは、このようなことで紛糾するのではなく、政策を討議し合いたい。

賛成 4人
反対 8人
賛成少数で否決

意見書

玄海原発の再稼働に反対する意見書
RDF発電事業の終結にあたって

提出者 末藤 省三 議員
要望内容

福岡県、政府におかれては、佐賀県に対し「原発の再稼働を認めないよう」申し入れるとともに、九州電力に対し、玄海原子力発電所の再稼働を行わないよう強く要請することを要望する。

賛成 近藤・寺田・吉田・丸山・二宮・大林・末藤

反対 牟田口・安河内・助村・野上・牛房・古庄

賛成多数で採択

賛成少数で不採択

反対討論
RDF事業は数十年かかってくる問題であり、全県協議会でも対応している。将来ごみ問題は近隣各町とも一緒にやっつけていかないとけない。現在の状況を判断して、志免町だけが、まして議会が独自に意見をもつて県に要請することはあつてはならないと思う。意見書の提示についてもしっかりと議論されるべき。

12月定例会賛否結果表

議案名	採決結果	全員賛成	賛成多数	賛成少数	賛成多数	賛成多数	賛成多数	賛成多数	賛成多数	賛成多数	賛成多数	賛成多数	賛成少数で不採択	賛成多数で採択
玄海原発の再稼働に反対する意見書	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
RDF発電事業の終結にあたっての意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志免町飲酒運転撲滅に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度志免町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度志免町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度志免町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度志免町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度志免町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北筑昇苑苑組合の共同処理する事務の変更及び北筑昇苑苑組合規約の一部変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志免町税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志免町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志免町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志免町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志免町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志免町農業委員会の委員の定数に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

町の重要な課題

委員会報告
(調査・研究)

(太字は委員会の要望、要請)

総務文教常任委員会

学校運営と不登校問題 志免町適応指導教室 「ぐんぐん」を視察

不登校児童・生徒数は小学生10名、中学生50名前後、町独自の取り組みとして、中学校への不登校対応補助教員・心の相談教室・アンケートによる未然防止・ス

クールソーシャルワーカールの配置・適応指導教室などがあり、対応しているとのことでした。

委員より、不登校児童・生徒の地域別の分析が必要ではないか、との事で資料を出してもらい審議した。

短期不登校児の把握はできているのか。不登校になりそうな子への支援はどうしているのか。

の適応指導教室の視察。

不登校生徒の現状や、サポート教室の様子を、ワーポイントで説明を受けた。

教室を間仕切りにして、子どもたちの状況にあわせた配慮がされていた。

「ぐんぐん」では不登校支援開始までの流れ、活動内容、通室状況等の説明を受けた。

自学を基本としているが、個別の時間割を作成し、学習支援にも努力しているとの事。

通学状況として中央小学校区の子どもが多く、不登校児への対応の場所が増えれば少しでも減るのでは。

保育行政と待機児童 委員会軽視に審査 中断

学童保育所運営の委託先については、委員会でも審

議をしてきたにもかかわらず、執行部側が委託先の話を進め結果のみを議会に知らせるやり方に対して、委員会軽視・議会軽視であり到底容認できるものではないとの事で審議が中断。

委員会が審査拒否した事に対し、町長より説明をしたいので、委員会に出席させてほしいとの申し出があった。

町長より「9月議会での答弁が、あたかも決まった様な発言や内容になった事に対し申し分けなかった。熟慮して答弁すべきだった」

今後社協も含め、他のNPO等も再度検証、委員会とも意見を交えながら進めてほしいとお願いがあり、委員会も今後審議を行う。



適応指導教室の視察

適応指導教室へ通う生徒の地域別の割合、フリースクール状況等多くの質問が出された。家庭教育も必要であり、保護者への相談体制の充実も必要と要望した。

現場の様子と声を聞く必要があるとの事で、中学校

厚生建設常任委員会

地域包括ケアシステム 在宅医療・ 介護連携を協議

地域包括ケアシステム構築に向けた町の取組みについて、項目ごとの進捗状況を担当課に説明を求めた。

医師会と連携し行っている多職種連携研修会を9月28日に開催した。

医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、主任ケアマネ、社会福祉士、保健師に加え、今回から理学療法士、作業療法士、管理栄養士の3職種を加え、計47名の参加があり、事例検討会と同職種間の連携について意見交換を行った。

また、10月4日には、粕屋医師会主催の在宅医療と介護の連携推進会議が開催され、粕屋医師会、粕屋保

健福祉事務所、粕屋地区1市7町の担当課長及び担当者が参加した。

在宅医療・介護連携については各市町で各々取組んでいるが、広域的な取組みが必要な事項について、今後、同連携推進会議で協議していく。

以上のことを担当課より報告を受けた。

住民ニーズに応じた サービスの創出

例えばコミュニティカフェや買物支援などについて現状を調べ、不足しているサービスの構築を急ぐ必要がある。

社会資源、地域資源を把握し、今後整備するとのこと。

ゴミの現状と課題 リサイクルボックス 設置は慎重に

地域の資源回収を活用できている人がおり、リサイクル品の回収場所を増やす取組みとして、公共施設にリサイクルボックスの設置を検討していると報告があった。

町内会、老人会やPTA等、地域で実施している資源回収を圧迫しないように、慎重に進めるよう要請した。



志免六町内会資源回収



買物バスツアーのチラシ

委員会って何？

委員会とは、議会で取り扱う複雑多岐な内容を、専門的・効率的に審査するために設けられています。

委員会は、議会が開催していないときも、町のことについて様々な調査や研究をおこなっています。

第5回12月定例会について

会期は12月2日から21日までの12日間。議員提案による条例の提案が一件・意見書が3件提出の予定。

(委員長に対するQ&A)

- Q. 子育て支援関係の審議が止まっている。議会の收拾も必要では。議運で協議されたのか。
- A. 総務委員長より申し出がないのでしていません。
- Q. 会派制について議会運営委員会で勉強するとの事だったが、されたのか。
- A. まだしていない。
- Q. 福岡都市圏広域は半年近く開催されていない。やめてもいいのでは。
- A. 3町の日程がなかなか一致しないため現在苦慮している。
- Q. 地方議会議員の厚生年金制度へ加入の意見書が出るのか、議員年金を廃止した経緯もある。しっかり討議したか。
- A. 詳しい事はしていない。

10月12日に志免町広域行政調査特別委員会を開催。

今後3町(宇美・志免・須恵)で議題とする3項目程度を選定した。

- ・バスの利便性の向上
- ・災害に対する連携

・須恵スマートインターからの道路整備
10月28日に3町正副委員長会議を行い、各町の提案事項を出し合ったが、宇美町からは災害対応等は県内で協定がある、道路整備は委員会での議題にはならないのではと意見が出された。

須恵町からは、3町合同委員会は意見交換や親睦の場ではないのでは、また香椎線の黒字化に力を入れられないか等の意見が出された。

年明けに3町合同委員会を開催する。

(委員長に対するQ&A)

- Q. 今の報告では3町のスタンスが大分違う印象がある。
- A. 広域の合同委員会のあり方についてはしっかり議論していただきたい。
- Q. 年明けの全体会議に出したい。

◆視察・研修◆

議会運営委員会

視察研修 大刀洗町議会
日程 11月15日
目的 議会報告会について

大刀洗町議会の議会報告会について、意見を交換し、2月の議会報告会に活かしていきたい。

議会広報特別委員会

研修 福岡県町村議会
日程 11月25日
目的 広報研修会

しめ議会日より第79号を提出し、講師の吉村潔氏に評価して頂いた。今後の広報作成に役立てたい。

ズバリ町政を問う

牛房 良嗣 議員 12P

- ①小学生から英語の取組を
- ②グラウンドに屋根つきベンチを

助村千代子 議員 13P

- ①健康マイレージの取り組みを

野上 順子 議員 14P

- ①生活保護世帯の下水道減免廃止
- ②町長の公約水道料値下げは

丸山真智子 議員 15P

- ①自主防災組織の育成・指導を
- ②町内会(自治会)の脱会対策は

古庄信一郎 議員 16P

- ①社協の繰越金は多額で問題だ
- ②社協への議会選出は廃止

二宮美津代 議員 17P

- ①受動喫煙防止への取り組み
- ②認知症サポーターの連携強化

末藤 省三 議員 18P

- ①マイナンバー番号なくとも受理

※桜は志免町花です

会議録に基づき議員個々の自由編集で掲載しております。
詳細は会議録(HP・図書館・各公民館に置く)をご参照ください。掲載は質問順としています。

一般質問とは議員が町政全般(一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など)について、町長など執行機関の考えを議員個人として問うことです。

質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の範囲内で※1問1答で行います。

※質疑、答弁を理解するまで繰り返し方法

小学1年生から英語の取組を 答弁／グローバル化、前向きで検討



牛房 良嗣 議員

牛房 グローバル化の社会で活躍する子どもたちに一番必要なことは英語の修得。
園児からの英語支援と現在の5・6年生の英語学習を1年生からにすることを再三にわたり提言する。
現在の検討状況は、
先ず園児への支援は、

牛房 幼児の脳力は6才までに90%が開発される、英語学習のみならず一般の学力にも貢献又障害をもつお子さんたちの脳力の活性化を促進する。
園児たちへの支援を切望する。
次に小学1年生からの英語学習の取組について問う。
取組みに必要な特例校、指定校への事前の申請はなされているのか。
教育長 申請の予定はしていない現状では英語教員の不足、授業時間不足、教材評価の問題など英語学習の環境が整備されず。
現状では近隣の先進校指定校の情報を得ながら検討。

又他町では全国自治体の英語教育のモデルを目指し勿論1年生からの実施に取り組んでいる。
福岡都市圏での1年生の英語の取組みは当たり前になっている。保護者は、1年生からの英語の取組みを望み待っている。



ALTの授業風景(志免中央小)

英語学習の問題は教育関係者だけの問題ではない。町長の先見性と決断に期待する。
町長 学校教育とも検討しながらすすめる。

健康マイレージの取組みを 答弁／前向きに取り組みたい



助村 千代子 議員

助村 健康寿命を延ばすべく、住民自ら取り組みが必要。
健康増進は健診を受ける事が基本。
昨年度の特健健診の受診率は、町の目標値は48%で実績は27・9%。健診の結果、改善の動機付け支援を受ける方は196人で、修了者は半分以下の88人。
積極的支援を受ける方は84人中修了者は10人。
26年度の受診率は29・4%、これは粕屋地区区内で6番目。

この状況の分析と今後の対策は。
健康課長 特定健診が始まった当初は2番目という高さだった。
年々減少してきている。
昨年からは町内の医療機関で受ける事も推進、その結果1ポイント(約80人)上がった。
今年度も1000人程の実績が上がっている。
今後受けやすい体制づくりを住民課と共に検討したい。

の受診率向上、健診後の指導支援の取組みについては検討を行っている。
歩いて健康づくり、月2回町民の方に健康づくりの場を提供している。
助村 健康や健診などに無関心層にいかにも、関心を持つてもらおうかだと思つ。
健康づくりに関心を持つてもらおうツールとして、健診や健康講座・料理教室・運動教室・スポーツ活動など町が指定したイベントに

参加する事でポイントが付与され、クオカードなど特典が得られる「健康マイレージ」の導入をとお考え。
健康づくりに努力した人や健康保険を使用しなかった人も、対象にする制度を活用して健康づくり、医療費削減に取り組んでは。
国は健康保険事業の中で位置づけている。
町長 補助金を有効に活用し、前向きに取り組んで行きたいと思う。

助村 前年度国保特別会計は、3733万円の赤字。
国保1人当たりの医療費は32万7000円、年々上がっているが下がっている市町もある。
医療費削減は健康につながる。
医療費の削減に積極的に取り組むべき。
健康課長 住民課とは健診



集団検診

グラウンドに屋根つきベンチを 答弁／異常気象、事故多発、検討する

牛房 グラウンドを利用する高齢者、子どもたちの安全を守るため屋根つきベンチの設置を。

町長 未設置場所を再点検し検討する。



丸山 真智子 議員

自主防災組織の育成・指導を 答弁／生活安全課が出前講座に行く

丸山 災害時の避難行動要
支援者の支援体制はどう
なっているのか。
生活安全課長 名簿に4、
753名、個別計画策定済
みが46名。
丸山 どうして進まないの
か。
関係機関情報共有方式を
活用したらどうか。
生活安全課長 個人情報
関連で共有できるのなら、
研究させていただきたい。



野上 順子 議員

生活保護世帯の下水道減免廃止 答弁／税の公平性の為に必要である

野上 生活状況の厳しい人
にとり、減免制度はありが
たいが状況はどうか。
総務課長 19の条例で減免
の規定を設けている。
野上 減免があるのに意外
と使われていない。
条件の基準が厳しいと感
じている。
今回下水道使用料の減免
が廃止されるが、今ある制
度も廃止になる可能性もあ
るのかと心配をする。
老齢加算の廃止、生活扶

助の減額など現状は厳し
い。
どういう形で廃止の話し
がされたのか。
上下水道課長 下水道使用
料が生活扶助に含まれてい
るという認識で廃止の方向
で進めた。
野上 廃止による影響等調
査はされたのか。
上下水道課長 調査はして
いない。
野上 それぞれの町の財政
状況は違うと思う。
福岡市が廃止したからで
はなく、町長の考えもあつ
てよかつたのでは。

丸山 災害時、役に立つ自
主防災組織は平常時に危険
箇所点検をしておく、地
域住民の役割分担、防災訓
練や避難訓練、防災資機材
の配置場所等の周知徹底等
があるが、されているのか。
町長 自主防災組織ができ
ただけになっているのでは
ないか。
出前講座をして進めた
い。
丸山 学校防災教育につい
ては中央教育審議会の学校

丸山 学校防災教育につい
ては中央教育審議会の学校
安全部会が発表した主体的
な学習や地域との実践の融
合、地域、家庭とともに学
ぶ学習が大切だとのことだ
が、志免町の防災教育は反
省する点はないのか。
学校教育課長 中教審のこ
とは調べてないが、福岡県
の教育委員会が作成した防
災教育に従っている。
丸山 経費が削減でき、担
当者の負担も減り、参加者
が増えるシェイクアウト
(一斉地震防災訓練)を行っ

野上 水道料を値下げする
が町長の公約だった。
多くの町民が期待もして
いるがどういふ状況か。
町長 就任当初より見直し
について上下水道課と議論
を重ねてきた。
直接的な水道料金でな
く、5t未満の方の削減が
できないか話しを進めてい
る。

野上 廃止の通知はどのよ
うな形で伝えるのか。
上下水道課長 現在減免を
行っている全世帯に、年内
に一回と施行日前に一回の
計二回通知する予定。

生活保護世帯への通知

町内会（自治会）の脱会対策は 答弁／対策を共有する勉強会を行なう

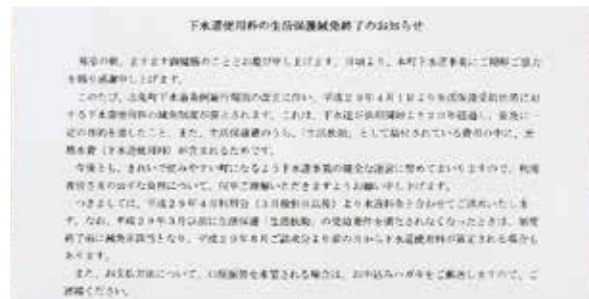
丸山 助け合う地域社会、づ
くりが再認識されている
時、町内会の脱会が増える
傾向にあるのは大きな課
題。
加入率は。対策は。
丸山 助け合う地域社会、づ
くりが再認識されている
時、町内会の脱会が増える
傾向にあるのは大きな課
題。
加入率は。対策は。
丸山 助け合う地域社会、づ
くりが再認識されている
時、町内会の脱会が増える
傾向にあるのは大きな課
題。
加入率は。対策は。

丸山 助け合う地域社会、づ
くりが再認識されている
時、町内会の脱会が増える
傾向にあるのは大きな課
題。
加入率は。対策は。
丸山 助け合う地域社会、づ
くりが再認識されている
時、町内会の脱会が増える
傾向にあるのは大きな課
題。
加入率は。対策は。
丸山 助け合う地域社会、づ
くりが再認識されている
時、町内会の脱会が増える
傾向にあるのは大きな課
題。
加入率は。対策は。



志免二町内会防災倉庫

丸山 新しく設置された自
治モデル検討特別室は何を
目指すのか。
丸山 新しく設置された自
治モデル検討特別室は何を
目指すのか。
丸山 新しく設置された自
治モデル検討特別室は何を
目指すのか。



生活保護世帯への通知

社協の繰越金は多額で問題だ 答弁／多岐事業で増、今後精査する

古庄 町の一般会計予算のなんと28・4%が補助金等の予算。支援団体数は、経営企画課長 366団体。
古庄 それらのチェック、評価のあり方について、代表して社会福祉協議会（以後社協）を挙げ少し疑問点を絞って伺う。予算、決算報告がホームページに25年以降掲載が全く無い。職員が少数で大変だろうが業務内容に問題があるのでは。

福祉課長 確認していない。古庄 社協と町での補助金の計上額が一千万円違う。別の補助があるのか。

福祉課長 判らない。

古庄 毎年繰越金が2500万円程度計上され、ほぼ同額が予備費計上。予算の1割。繰越金予備費が相当額あり補助金は削減すべき。

町長 多岐の事業で増えて

いるのでは。今後精査する。

古庄 人件費も他町より多い。

補助金の妥当性についてのチェックは全然されていない。特に理事には福祉課長も議員も入っている。しっかりと精査すべき。町の補助金交付規則及び基準では交付要綱を定めるとある。

柚の木や商工会、シルバー人材他は交付の要綱が策定されているが社協だけ

がない。なぜか。何を持って交付しているのか。

福祉課長 施行規則の手続きで実施している。

古庄 解釈論で展開するかから憶測が起る。ならば要綱は不要。公平性を持たねば。



社会福祉協議会（シーメイト内）

社協への議会選出理事は廃止

答弁／議会の判断、職員は精査する

古庄 来年4月に社会福祉法人等の法律の一部改正があり、社協の評議員の権限が強化。

町長 少しは利害関係がある。議会の判断。職員は精査する。

理事に所管の課長や議員がなることについて、同一の法人、兼業の禁止等の解釈からも私は反対だ。

古庄 宅所つどいの家は閉鎖されるようだが。町長 今後については利用

者と意思疎通を図る。

古庄 NPOや医療機関でも同様の事業を展開。わずかでも助成の検討を願う。

受動喫煙防止への取り組み 答弁／分煙対策について協議する

二宮 受動喫煙の健康被害をどのように捉えているか。

健康課長 喫煙者よりも、たばこから出る煙の方がより多くの有害物質が出る。積極的に周知を行っている。

二宮 公共の施設での防止対策への喚起は。

健康課長 ふれあいセンタ―は全面禁煙です。

総務課長 敷地内は禁煙。望山荘は分煙、来庁者は裏玄関横の喫煙所へ案内。

二宮 たばこの煙が漏れない喫煙室の設置など分煙対策は。ガイドラインは15年前に出されているが。

町長 屋内では禁煙にしているが屋外で吸っているなど、分煙への取り組みを協議したい。

二宮 先進自治体ではすでに受動喫煙防止条例を制定。条例制定への見解を。



福岡県受動喫煙防止ロゴマーク

認知症サポーターの連携強化

答弁／システムづくりは課題の一つ

二宮 認知症サポーターが活躍できる場や活動しやすいシステムづくりがいる。

福祉課長 認知症介護の事業所などと協力し、課題の一つとして進めたい。

二宮 町長は、新しいコミュニティづくりが必要だとされる地域づくりには、福祉的要素を含むシステムづくりが必要と思うが。

町長 地域のかかわりが大事である。地域のあり方、つながりをサポーターと広げていきたい。

二宮 養成講座後のアン

ケート結果は。

福祉課長 認知症の方への理解が深まった。何かできるといいう比率が高い。

二宮 キッズサポーターの養成は。

学校教育課長 教育活動の一環として行うか検討する。

二宮 認知症や高齢者への理解も深まる。優しい心を育んでいただきたい。

教育長 取り組みを指導する。



二宮 美津代 議員



古庄 信一郎 議員

志免町議会一般会議 報告

町民、諸団体などとの意見交換の場(一般会議)

団体名 志免町老人クラブ連合会	住民の参加人数 男性 19人・女性 2人・合計 21人
月 日 平成28年8月4日(木)	会 場 志免町役場4階 第1第2委員会室
開始時間 15時	終了時間 16時40分

テーマ	①志免町の老人福祉の現状について(介護保険制度について・老人福祉施設の現状について) ②高齢化社会、今後の取組みと対応について(行政・社協・議会の協働は) ③老人クラブ会員の減少、単位クラブの連合会退会・休会に議会からの支援を
内容の説明	<ul style="list-style-type: none"> 志免町の老人福祉の現状について資料を用いて説明をおこなう。 主な説明は、志免町の介護保険料は一番低い広域連合の水準(Cグループ)に位置している。 志免町では65歳以上で100人中15人が介護保険の認定を受けている等の説明をおこなう。 地域包括ケアシステムが今後重要であり、その中に老人クラブも位置付けされている。 介護予防のため、各町内会でうきうきルームが開催されており、今後の介護予防をおこなう上でとても重要である。 今後の施策として、介護支援ボランティア制度について議会として提言をおこなっている。 認知症サポーター養成や認知症カフェについて説明をおこなう。 <ul style="list-style-type: none"> 老人クラブの現状について事務局長より説明があった。 団塊の世代の取り込み。魅力ある老人会づくりをどのようにすればいいのか。 老人クラブのネーミングについても検討したほうがよいのでは。 老人クラブの問題として世代間の認識の違い60代、70代、80代から90代等がある。 元気な高齢者が介護等のサポートをどうおこなっていくかが課題。

意見交換会での質疑	質問・意見	回答
	介護保険制度の改正について、志免町では具体的にどういったかたちで進められているのか。	住民主体のサービスに移行されるところがはっきり構築されていないが、しくみを今つくっているところです。
	これから社会の要請として元気な人が弱者を守ることが求められている。老人クラブとしても増員してお互いやることをやっていきたい。	老人クラブは地域包括ケアシステムに位置付けられている。老人クラブの活動自体が介護予防につながる。老人クラブがないとそこが担えないので、各地域にやはり必要になってくるのではないかと思います。
	老人クラブは自主的な組織なのに、あるクラブでは町内会助成金の使途について話がある。そのため会の運営に苦慮している。	老人クラブの必要性は増している、町内会と十分相談してほしいと提言します。
	老人クラブの問題は会員の減少です。60歳以上の議員は老人会に加入してほしい。魅力的な老人会になるのでは。	町や議会も老人クラブの重要性の認識を持たなければいけないと考えます。
	魅力ある老人クラブをつくるために、老人クラブに直接補助金を支給できないのか。	町からの補助金はクラブにも連合会にも直接支給をしています。各町内会からの補助については町内会と相談しては。
	住民交流会とはなんですか。	地域での問題を話し合う会です。これまで3回開催されていますが、ぜひ参加して頂ければと思います。広報でお知らせしていますが、誰でも参加できます。
	会員クラブで住民交流会を催したいけどできますか。	提言として福祉課のほうに話しますが、現在行われている住民交流会に参加してみられるのもいいです。
	休部しているところの復活の場合、1年かかりました、即座に復活できるような制度をお願いします。	十分に検討させていただきます。活動するには即座に補助金を復活させる様に提言したいと思います。
	会員だよりを見込み者に配ったり、人気のあるグラウンドゴルフ等の話もして、輪を広げて会員を増やしていきたい。	いい提案ですね。会員を増やすには、他の老人クラブにも広げていかれたら良いと思います。
	役員のなり手がいない。 役員の手当も少ない。 老人会を立てる割には無視されていると感じる。 町内会に福祉が全部あるので、一緒にやれないかと思う。	充分考慮させていただきたいと思います。
	老人会で地域の手助けをするには若い人の入会が必要。 議会・行政で指導、応援をお願いします。	



末藤 省三 議員

マイナンバー番号なくとも受理 答弁／記載がなくとも受付はする

末藤 マイナンバーの届出について、4万7千人の人口のうち交付状況はどうなっているか。
総務課長 申請者数3800件です。
末藤 年金機構の125万件の漏えい、なぜそうなったのか、今後どうしたいのか。
住民に迷惑をかけないためにどうしていくのか。
説明が一言もない。
今回の交付状況、漏えい

が大変怖いんだと、不安だということから、これに携わる住民は少いんじゃないかと思うが、どう考えているのか。
総務課長 詳細なことは承知してない、答えしかねる。
末藤 確定申告が近づいてきたが、申告時にマイナンバーカードが提出されないかと受け付けされないのか。
総務課長 マイナンバーの記載がない場合であってもその申告書は受付ける。

末藤 住民は安心できない、年金機構の125万件の漏えいを始め、JTB 7793万人、ベネッセホールディングス3500件、アメリカのヤフーは5億件などが流出している、このマイナンバーについて全国で8件の裁判が起こされている。この中で、

一番目に集積された個人情報外部に漏えいする。二番目が不正利用、成り済まし等に財産その他の被害が発生する。三番目に国家によるさまざまな個人情報個人番号を鍵にして名寄せ、突き合わせ、一元化されるなど5つの危険性を認めていることが政府参考人からはつきりしてきた。
不安を住民に与えるようなことをしてはいけない。

住民課長 国民健康保険等の申請の際に提示は求めますが、なくした方や忘れてこられた方に対しても受け付けは行っている。
子育て支援課長 保育所申



マイナンバー受付(役場内)

議 会 報 告 会

お聞かせください！あなたの声！

今の志免・未来の志免 気軽にトーク！



*各テーブルごとに、少人数で懇談します！
*議会・町政へのご意見をおきかせください！
議員一同 お待ちしております！

2月14日(火)
場所 町民センター(視聴覚室)
19時 開始

2月15日(水)
場所 シーメイト(ホール)
19時 開始

詳しくは、議会事務局まで！(935-1001)

新成人に聞く

(成人式実行委員会の6人に質問しました)

Q. 議会だよりを読んだことがありますか。
A. ・ある 1人 ・ない 5人

Q. 選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられた前回の参議院議員選挙、投票に行きましたか。
A. ・行った 1人 ・行っていない 5人

Q. 将来、議員になりたいと思いますか。
A. ・なりたい 0人
・なりたくないと思わない 6人

Q. いま、政治に関して一番興味があることを教えてください。
A. ・給付型奨学金 ・カジノ問題 ・プーチン大統領来日



成人式実行委員の方々

広報委員会の感想

非常に残念な結果ですが、若いひとたちも読みたくなるような議会だよりをしていきたい。

第24回 参議院議員通常選挙の投票率について

全体...49.92%
18歳...42.73%
19歳...37.95%